



第10回やまぐち高校生県議会に 参加してきました！

山口・防府地域版

R6.10.29 開催



高校生県議会って？

次代を担う県内高校生に県議会の役割や県行政への理解と関心を高めってもらうため、平成27年度から実施されている模擬議会

議長開会宣言



開会宣言する
柳居議長

第10回記念ミニコンサート



第10回の開催を記念して、山口中央高等学校オーケストラ部と合唱部の皆さんの演奏による、ミニコンサートを開催しました！

高校生議員の自己紹介



高校生議員からの質問及び執行部答弁

自動車運転業務でも高齢化が進み、加えて、いわゆる2024年問題もあり、運転手不足が加速すると考えます。県では今年度以降、全県的な運転士確保支援や、全国に向けたPRの実施等をされていますが、どのような成果を見込まれていますか。

また、県の「地域交通として必要な路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー等の運行、交通事業者の事業継続に十分な運転手が確保されている」という望ましい姿を今後どのように実現していきますか。



質問に立つ
清水議員

将来にわたって地域交通を維持していくためには、官民が一体となって、運転士の確保に向けて取り組んでいく必要があります。

このため、県では、今年度新たに、国や関係団体等による協議会を設置し、効果的な取組の共有を図るとともに、民間ノウハウを活用した就職フェアの開催等、県内外に向けた積極的なPR等を行っています。

こうした取組の成果として、バス運転士に特化した求人サイトや就職イベントでの情報発信により、この3か月で約20名の方から応募や面談の希望があり、今後、交通事業者において、採用に向けて面接等を進めることになっています。

また、タクシーについては、勤務時間を日中のみとするなど、働きやすい勤務形態を取り入れたことにより、女性運転士の採用が増えた事業者も出てきています。

さらに、県が掲げる、「路線バス等の運行や交通事業者の事業継続に、十分な運転士が確保されているという望ましい姿」を実現するためには、運転士を増やす取組と併せて、交通事業者の業務の効率化を図っていく必要があります。

このため、県では、交通事業者等と連携をして、自動運転などデジタル技術を活用した新たな移動サービスの導入を目指す市町の支援も行っています。

今後とも、望ましい姿の実現に向けて、運転士の確保や業務の効率化に、積極的に取り組んでまいります。

答弁する
村岡知事

清水議員（山口高）と河村議員（山口農高）が、山口・防府地域を代表して質問をしました！

山口県の農業従事者は5年間で30%減少し、高齢化も進んでおり、コロナ禍以降、就業に向けた相談件数も減少しています。農業従事者を増やすため、高校生や大学生に就職先としての農業に興味を持ってもらうために、どのような取組をしていますか。また、高校生の就職先として魅力的な農業関係の企業を増やすため、山口県を農業経済特区とし、新規参入企業に対して一定期間税制上の優遇措置を図るなどの取組を行うことは可能でしょうか。



質問に立つ河村議員



答弁する村岡知事

農業を将来にわたって発展させていくためには、未来ある若者に農業への理解を深めてもらい、職業として選んでいただくことが何より重要です。このため、農業への理解促進に向け、JAなど関係機関と連携し、小学生から大学生までの農業体験の支援を行うほか、就業に向け、農業法人等における高校生や大学生のインターンシップなどに取り組んでいます。また、高校での出前授業により、農業用ドローンなどを活用した最先端の農業を紹介し、スマート農業を実践している農業者のプロモーション動画をYouTubeで公開するなど、農業への関心を高める取組を強化しています。次に、魅力的な農業関係の企業を増やすための取組についてです。県内で農業を目指す企業のスムーズな参入に向け、市町など関係機関と連携した相談や、新規雇用者の育成を支援する給付金などのソフト対策と、機器や施設の導入支援などのハード対策に取り組んでいます。議員お示しの税制面での優遇措置については、農業機械などの設備の導入当初に、所得税や法人税が軽減される制度を活用して、企業の参入を促しているところです。さらに、現在、県内で農業を担っておられる農業経営体が、高校生や大学生にとって、給与や福利厚生等が充実した魅力ある職場となるよう、専門家の派遣により、収益性の向上や働きやすい環境の整備を積極的に支援しています。なお、議員御提案の特区設立については、いただいた御意見の趣旨も踏まえ、国との意見交換等を行ってまいります。農業が次代を担う若者にとって夢や希望を持てる魅力ある産業となるように積極的に取組を進めてまいります。

第10回やまぐち高校生県議会で可決された意見書



提案理由を説明する桑野議員

「男性の育児休業取得率向上のためのサービスロボット導入を求める意見書」

男性の育児休業取得率の低い産業において、作業効率を上げ、人手の余裕を持たせることにより、育児休業取得率を上げるために、サービスロボットの導入を求める意見書を、高校生議員47名全員の賛成で可決しました。

(代表提案者:豊浦高等学校 桑野 羽桜さん)

決意表明

高校生議員を代表して、「山口県民の一員として持続可能な未来社会に貢献し、誰もが暮らしやすく、希望にあふれた山口県の実現のために、積極的に尽力し続ける。」と決意表明をしました。



決意表明する立野議員

(決意表明者:下松高等学校 立野 嬉杏さん)

山口・防府地域の高校生議員の皆さん

- (防府商工高等学校)
池田夕姫さん 権代滯望君
- (山口高等学校)
有重悠雅君 清水陽樹君
- (山口農業高等学校)
河村乙葉さん 福田明夏さん
藤村竜馬君
- (中村女子高等学校)
佐藤優羽さん 中川愛子さん

記念撮影

